

| | | | |
|-------|--------------|------|-------------|
| 3類型 | 鉦工業品 | 通巻番号 | 3-19-020 |
| 地域資源名 | 郡内織物 | 認定日 | 平成19年10月12日 |
| 地域 | 山梨県富士吉田市・西桂町 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名：甲斐絹復活による新製品開発と新市場開拓

会社名 株式会社前田源商店
株式会社榎田商店
山崎織物株式会社
有限会社田辺織物

代表所在地：山梨県富士吉田市下吉田
1503-4

H P : <http://www.kaikiza.com>

連絡先：TEL:0555-23-2231 FAX:0555-23-8988

事業概要(新たな活用の視点)

類い稀な甲斐絹(カイキ)技術が伝承されていることから、海外有名ブランドの委託生産要請に応えている産地である。しかし、このことが委託生産・素材提案を中心とした生産構造をもたらし、主体的な物作りに課題を抱えていた。こうしたことから、今後、産地の活性化とテキスタイルによる地域振興を進めるため、産地のつくり手自らが最終製品を提案し、市場を創造していく。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

甲斐絹座が持つ技術と甲斐絹が本来持つ「和の味」「絹本来の光沢」「先染め織物の深い色合い」を加えることで、既存の商品トレンドとは違った「和のデザイン」を表現し、差別化を図る。

◆市場性

近年、消費の2極化が進んでおり、甲斐絹座では高級感と伝統の重みのあるデザインを武器としたテキスタイルを追求し、東京を中心とした自分のライフスタイルにこだわりを持つアッパーミドル層をターゲットとし、こうしたお客様に支持を得ているセレクトショップ・百貨店などをターゲットとする。

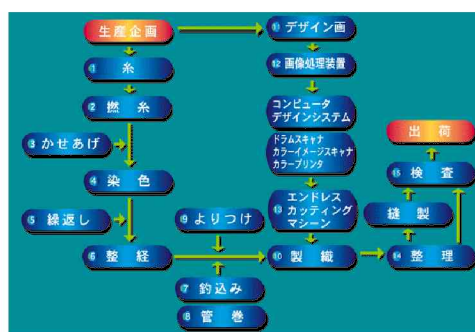
◆販路

初年度から2年度は、既存チャネルを使った販路開拓を優先させ、3年度以降からは新規開拓分野のテスト販売を始め、量産体制を構築し、5年後に計画売り上げを5%以上の増進を目指す。

地域資源における関係事業者との連携

産地内の繭の生産農家と連携して、原材料確保を行う。事業運営は共同申請4社を中心に人材を投入し委員会を設置する。

製品開発については専門家を選定し、適切なアドバイスを求める。



織物製造工程図



メンバー各社は古くから創業するなど一貫して絹織物を中心に事業を展開

甲斐絹復活による新製品開発と新市場開拓委員会
・グループメンバー4社他

山梨県富士工業技術センター
・試作品開発の支援
・品質管理の支援

専門家(コーディネーター、デザイナー等)

富士吉田商工会議所
・商取引の支援
・展示会の支援

甲斐絹座